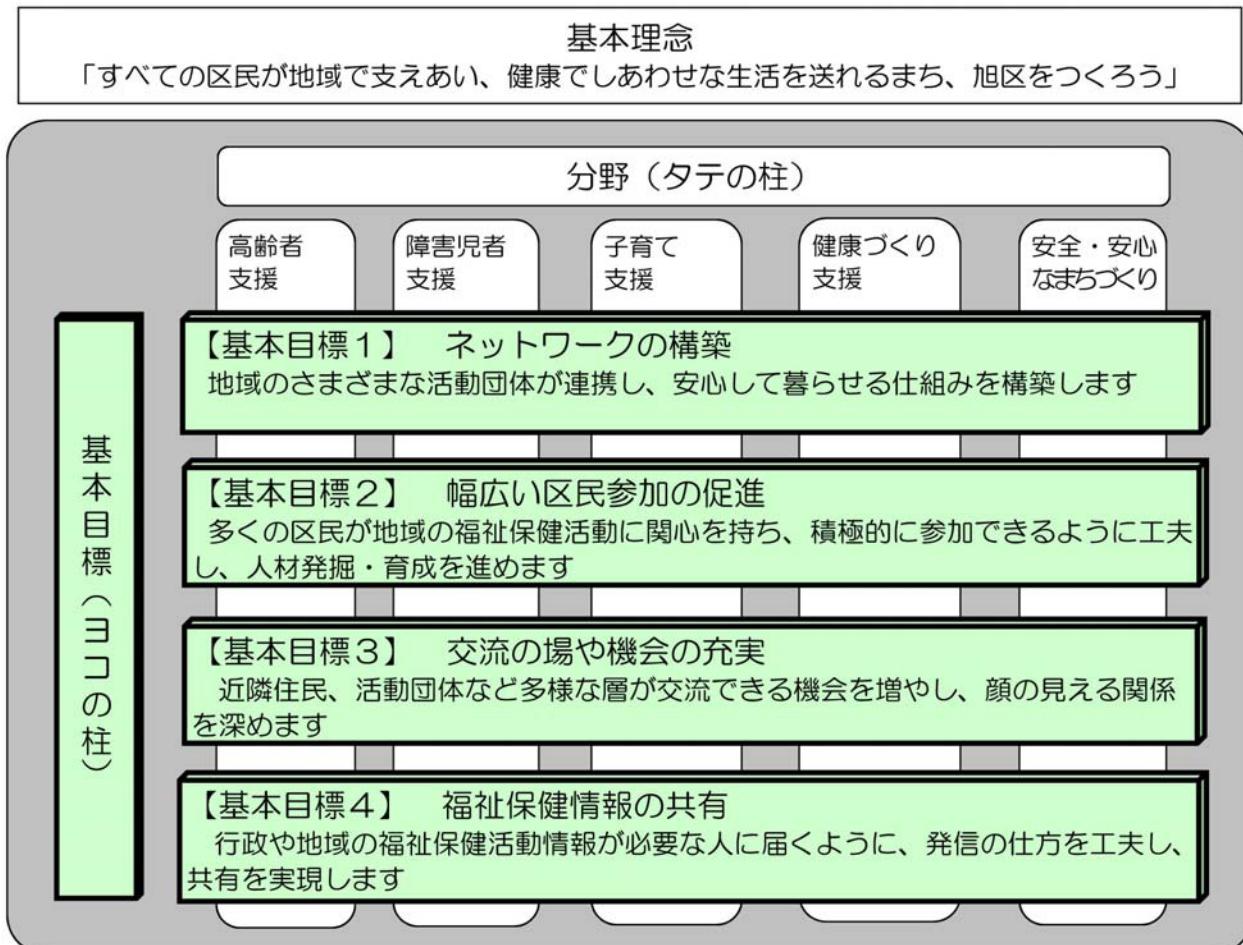


■ 第2期旭区地域福祉保健計画の基本理念と4つの基本目標

● 基本理念と基本目標の組立て

計画は、基本理念とそれを具体的に支える基本目標（ヨコの柱）の実現へ向けて策定、推進を行います。分野（タテの柱）は地域福祉保健計画で想定する5つの分野を示しています。



※ 第1期計画の基本理念を継承しつつ、分野のタテ割りではなく、共通の課題を見出す視点として基本目標（ヨコの柱）を追加しました。この方向性については職員ワーキンググループにより案を作成し、その後「旭区地域福祉保健計画策定委員会」に諮って決定しました。

● 4つの基本目標

基本目標	この目標が必要と考えた背景 (地域・地区担当から出された意見)	行動目標
【基本目標1】 ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により、支援を必要とする高齢者の数が増加している。老老介護、認知症、身寄りのない世帯が増加していく ・障害者の保護者が高齢化している。親元での地域生活が困難になっていく ・子育て世帯が孤立しやすい。子育ての悩みやストレスを抱えている状況が見られる 	地域のさまざまな活動団体が連携し、安心して暮らせる仕組みを構築します
【基本目標2】 幅広い区民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手がいつも同じ人たちになってしまっており、新しい人材が入らない悩みがある ・ボランティアや自治会町内会役員などの担い手が足りない 	多くの区民が地域の福祉保健活動に関心を持ち、積極的に参加できるよう工夫し、人材発掘・育成を進めます
【基本目標3】 交流の場や機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣とのつながりが薄い ・顔の見える関係づくり、きっかけづくりが必要 ・緊急対応が必要な状態になるまで、誰にも気づかれない方がいる 	近隣住民、活動団体など多様な層が交流できる機会を増やし、顔の見える関係を深めます
【基本目標4】 福祉保健情報の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・すでにある取組を伝えたい ・地域活動を伝え、地域を活性化したい ・相談せずに自分たちで解決しようとしている人も多いと感じる ・公的サービスではカバーしきれない状況になってから相談に来ることが見られる 	行政や地域の福祉保健活動情報が必要な人に届くように、発信の仕方を工夫し、共有を実現します